nikko am
Nikko Asset Management

インデックスファンド海外新興国（エマージング）債券（１年決算型）
＜愛称　DC インデックス海外新興国債券＞

追加型投信／海外／債券／インデックス型

交付運用報告書

第12期（決算日2019年11月18日）

作成対象期間（2018年11月17日～2019年11月18日）

第12期末（2019年11月18日）	
基準価額	12,308円
純資産総額	5,398百万円
第12期	
騰落率	6.3%
分配金（税込み）合計	10円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「インデックスファンド海外新興国（エマージング）債券（１年決算型）」は、2019年11月18日に第12期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として「海外新興国債券インデックスLocal（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券に投資を行ない、「ＪＰモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし・円ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社
東京都港区赤坂九丁目７番１号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

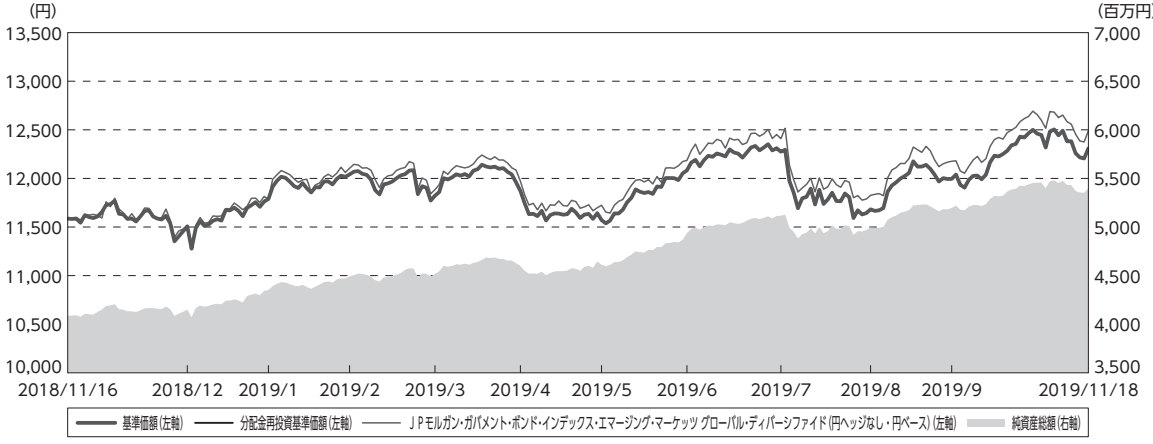
コールセンター　電話番号：0120−25−1404
午前９時～午後５時　土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2018年11月17日～2019年11月18日）



期　首：11,586円
期　末：12,308円（既払分配金（税込み）：10円）
騰落率：　6.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額およびＪＰモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし・円ベース）は、期首（2018年11月16日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）ＪＰモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし・円ベース）は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として「海外新興国債券インデックスLocal（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券に投資を行ない、「ＪＰモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし・円ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

・先進国の主要中央銀行の政策金利の引き下げや引き下げ期待などから、先進国の長期金利が低下したこと。
・米中貿易協議の進展や英国と欧州連合（ＥＵ）の間の離脱協定改定案の合意などを受けた英国の合意なきＥＵ離脱の回避期待から、投資家のリスク選好姿勢が強まったこと。
・一部の新興国で市場予想を上回る幅で政策金利が引き下げられたこと。

＜値下がり要因＞
・一部の新興国での政治的混迷や自国通貨の下落などから、資金流出懸念が高まったこと。
・世界的な景気減速懸念から、リスク回避姿勢が強まったこと。

1万口当たりの費用明細

（2018年11月17日～2019年11月18日）

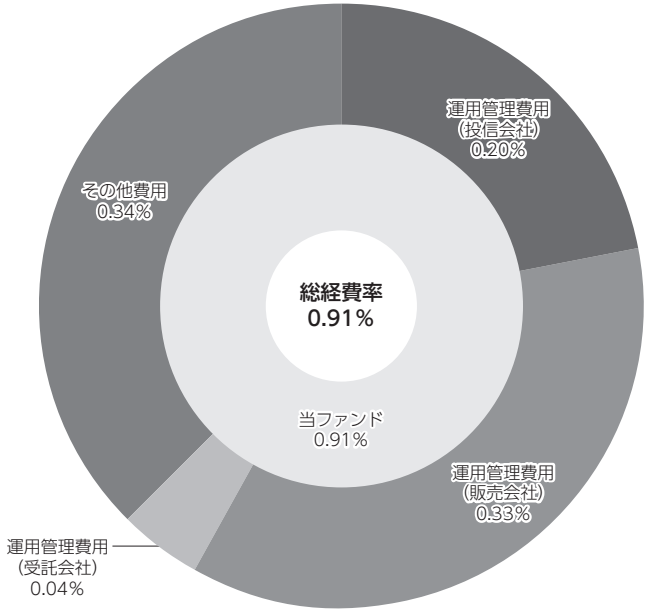
項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 信託報酬	68	0.575	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(24)	(0.205)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(39)	(0.332)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受託会社)	(5)	(0.039)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	41	0.342	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(38)	(0.317)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(2)	(0.019)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
(その他)	(0)	(0.002)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	109	0.917	
期中の平均基準価額は、11,901円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

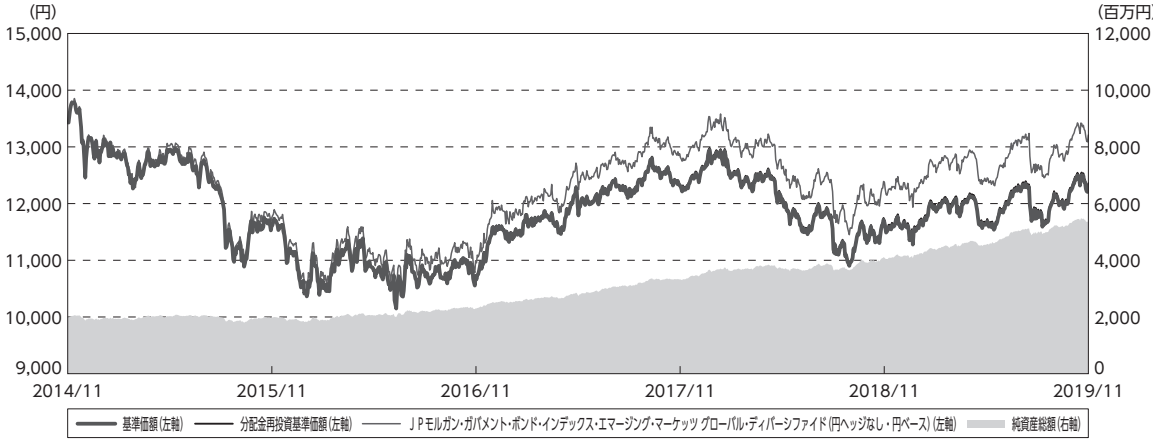
期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.91%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移

（2014年11月17日～2019年11月18日）



（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額およびＪＰモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし・円ベース）は、2014年11月17日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年11月17日 決算日	2015年11月16日 決算日	2016年11月16日 決算日	2017年11月16日 決算日	2018年11月16日 決算日	2019年11月18日 決算日
基準価額　(円)	13,433	11,527	10,719	12,213	11,586	12,308
期間分配金合計（税込み）　(円)	—	10	10	10	10	10
分配金再投資基準価額騰落率　(%)	—	△ 14.1	△ 6.9	14.0	△ 5.1	6.3
ＪＰモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし・円ベース）騰落率　(%)	—	△ 12.9	△ 6.0	16.0	△ 3.9	7.8
純資産総額　(百万円)	1,977	1,954	2,305	3,296	4,083	5,398

（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

（注）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。

（注）ＪＰモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし・円ベース）は当ファンドのベンチマークです。

投資環境

（2018年11月17日～2019年11月18日）

（新興国債券市況）

新興国の債券指数は、期間の初めと比べて総じて上昇しました。

大統領予備選挙の結果を受けた政治的混迷や、自国通貨の下落、信用格付けの引き下げなどを背景に資金流出懸念が高まったアルゼンチンなど一部の新興国の債券指数が下落したほか、国際通貨基金（ＩＭＦ）による世界経済見通しの下方修正などを受けた世界的な景気減速懸念からリスク回避姿勢が強まったことや、香港情勢やサウジアラビアの石油生産施設の攻撃を受けた中東の地政学的リスクの高まりなどから、指数の上値が重くなる局面も見られたものの、インフレの落着きなどを背景に一部の新興国で市場予想を上回る幅で政策金利が引き下げられたことや、先進国の主要中央銀行による政策金利の引き下げや引き下げ期待などから先進国の長期金利が低下し、相対的に高金利の新興国債券市場の魅力が高まったこと、米中貿易協議での部分合意に向けた進展や、英国とＥＵの間の離脱協定改定案の合意などを受けた英国の合意なきＥＵ離脱の回避期待から、投資家のリスク選好姿勢が強まったことなどを受けて、新興国の債券指数は総じて上昇しました。

（為替市況）

期間中の新興国通貨は、期間の初めと比べて対円で総じて下落しました。

景気の底堅さやインフレの落ち着きなどを受けて、一部の新興国通貨は対円で上昇したものの、欧州や中国などの経済指標が市場予想を下回ったことや、ＩＭＦが世界経済見通しを下方修正したことなどを受けた世界景気の減速懸念に加えて、一部の新興国での景気低迷や中南米諸国での政治的混迷、地政学的リスクの高まりなどを背景に新興国通貨の買いが手控えられたこと、また、米中貿易摩擦を巡る対立が深刻化した局面でリスク回避の円買い需要が高まったことなどから、新興国通貨は対円で総じて下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2018年11月17日～2019年11月18日）

（当ファンド）

当ファンドは、「海外新興国債券インデックスLocal（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（海外新興国債券インデックスLocal（ヘッジなし）マザーファンド）

主に新興国の現地通貨建債券に投資し、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ないました。また、ベンチマーク採用国や採用銘柄の入替えなどに対応し、随時ポートフォリオの見直しを行なうとともに、債券の組入比率を高位に維持することで、ベンチマークとの連動性を保つよう努めました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2018年11月17日～2019年11月18日）

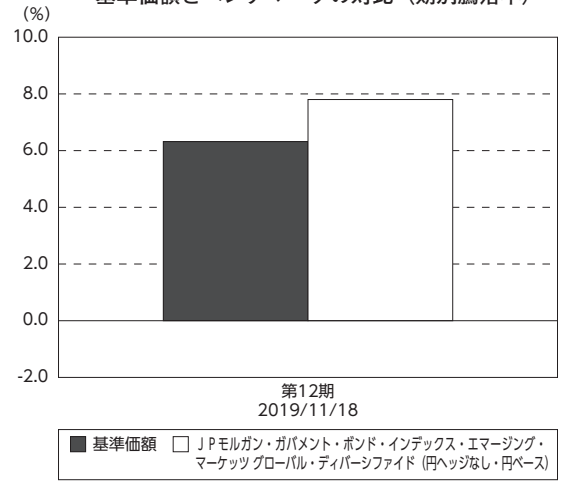
期間中における基準価額は、6.3%（分配金再投資ベース）の値上がりとなり、ベンチマークである「ＪＰモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし・円ベース）」の上昇率7.8%を概ね1.5%下回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

＜プラス要因＞
・国別・通貨別選択の効果。

＜マイナス要因＞
・銘柄選択の要因。
・外国口座の管理費用。
・債券・為替の売買に伴なう費用。
・信託報酬などの諸費用。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。
（注）ＪＰモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし・円ベース）は当ファンドのベンチマークです。

分配金

（2018年11月17日～2019年11月18日）

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第12期 2018年11月17日 ～2019年11月18日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.081%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,633

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「海外新興国債券インデックスLocal（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（海外新興国債券インデックスLocal（ヘッジなし）マザーファンド）

引き続き、これまでの運用方針を継続します。主に新興国の現地通貨建債券に投資し、原則としてベンチマーク採用国や採用銘柄の入替えなどに対応し、随時ポートフォリオの見直しなどを行なうとともに、債券の組入比率を高位に維持することで、ベンチマークである「ＪＰモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし・円ベース）」との連動性を高めるように努めます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

お知らせ

2018年11月17日から2019年11月18日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

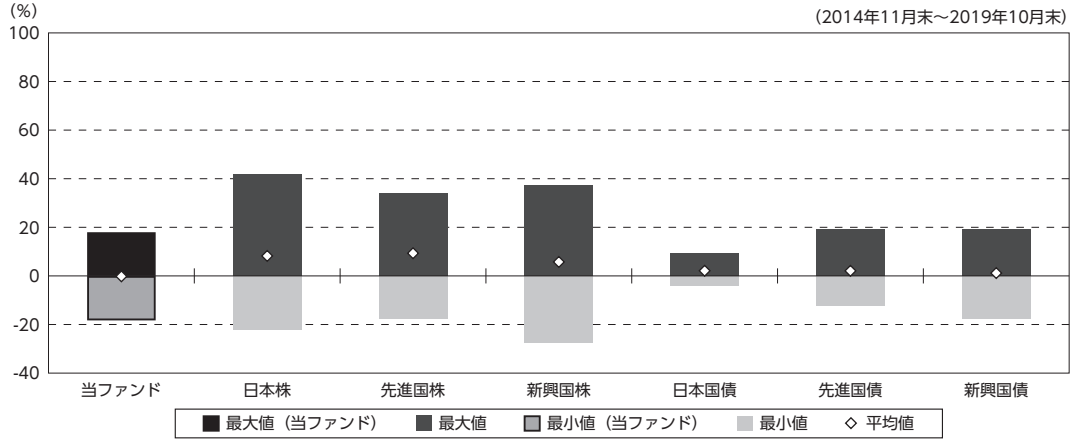
当社ホームページにおいて、より高い安全性を確保するためのセキュリティ対策としてＨＴＴＰＳ化を実施することに伴ない、当ファンドの信託約款における当社ホームページＵＲＬの表示を「www.nikkoam.com/」へ変更するべく、2019年２月16日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。（第55条、第55条の２）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券／インデックス型	
信託期間	2008年4月1日から原則無期限です。	
運用方針	主として「海外新興国債券インデックスLocal（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券に投資を行ない、「ＪＰモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし・円ベース）」の動きに連動する投資成果をめざします。	
主要投資対象	インデックスファンド海外新興国（エマージング）債券（1年決算型）	「海外新興国債券インデックスLocal（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	海外新興国債券インデックスLocal（ヘッジなし）マザーファンド	新興国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	主として「海外新興国債券インデックスLocal（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券に投資を行ない、「ＪＰモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし・円ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。運用の効率化をはかるため、債券先物取引や外国為替予約取引などを活用することがあります。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：％）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	18.0	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△18.3	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	△ 0.2	8.2	9.3	5.8	2.1	2.1	1.2

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2014年11月から2019年10月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》
日 本 株：東証株価指数（TOPIX、配当込）
先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）
日本国債：NOMURA-BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）
（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。**●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）**は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。**●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）**は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。**●NOMURA-BPI国債**は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。**●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）**は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。**●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）**は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

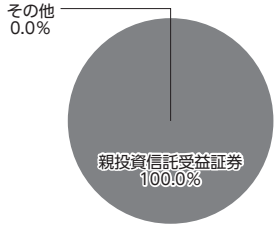
（2019年11月18日現在）

○組入上位ファンド

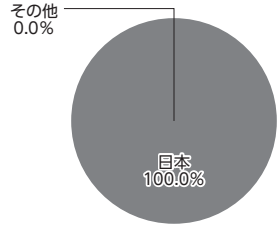
銘　柄　名	第12期末
	%
海外新興国債券インデックスLocal（ヘッジなし）マザーファンド	100.0
組入銘柄数	1銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

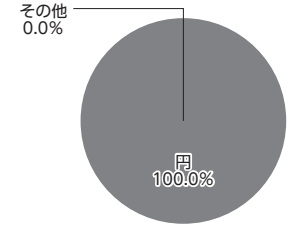
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

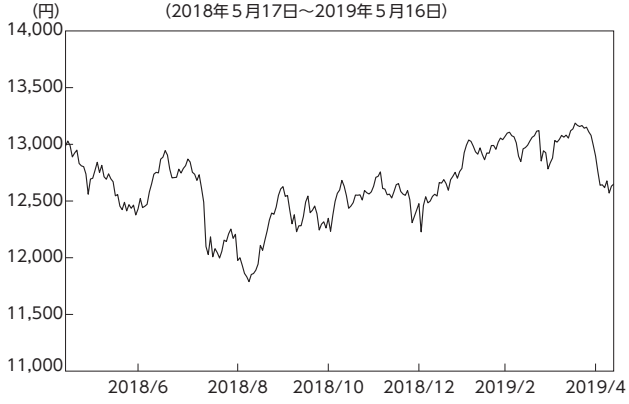
項　　目	第12期末
	2019年11月18日
純資産総額	5,398,698,084円
受益権総口数	4,386,502,850口
1万口当たり基準価額	12,308円

（注）期中における追加設定元本額は1,525,789,621円、同解約元本額は664,174,817円です。

組入上位ファンドの概要

海外新興国債券インデックスLocal（ヘッジなし）マザーファンド

【基準価額の推移】



【１万口当たりの費用明細】

(2018年５月17日～2019年５月16日)

項　　目	当　期	
	金　額	比　率
	円	%
(a) その他費用	40	0.315
(保管費用)	(39)	(0.312)
(その他)	(0)	(0.003)
合　　計	40	0.315
期中の平均基準価額は、12,632円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

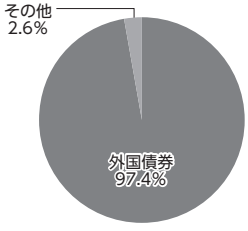
【組入上位10銘柄】

(2019年５月16日現在)

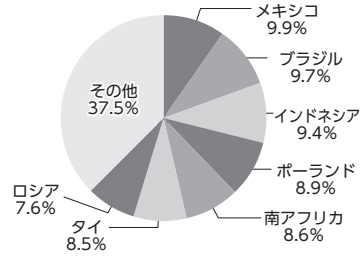
	銘　柄　名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	LETRA TESOURO NACIONAL 0% 2020/7/1	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	1.8
2	NOTA DO TESOURO NACIONAL 10% 2023/1/1	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	1.5
3	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA 10.5% 2026/12/21	国債証券	南アフリカランド	南アフリカ	1.5
4	NOTA DO TESOURO NACIONAL 10% 2021/1/1	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	1.2
5	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA 8.75% 2048/2/28	国債証券	南アフリカランド	南アフリカ	1.2
6	TITULOS DE TESORERIA B 10% 2024/7/24	国債証券	コロンビアペソ	コロンビア	1.1
7	NOTA DO TESOURO NACIONAL 10% 2025/1/1	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	1.1
8	LETRA TESOURO NACIONAL 0% 2022/1/1	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	1.1
9	TITULOS DE TESORERIA B 7.5% 2026/8/26	国債証券	コロンビアペソ	コロンビア	1.1
10	MEX BONOS DESARR FIX RT 7.5% 2027/6/3	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	1.0
組入銘柄数		213銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

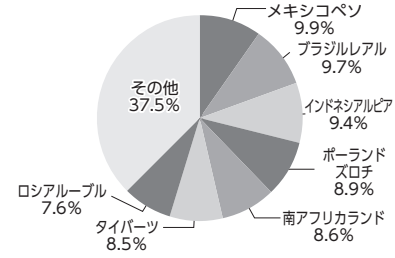
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。